令和８年度第２回　我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会　　議事録

開催日時　令和８年１０月１５日（木）午後２時から午後３時３０分
開催場所　我孫子市役所　第一委員会室
出席者　　佐藤　昭宏、田中　治、小野　武弘、白水　晃子、松山　光貴、関　俊昭、
小森　梓、武田　弘恵、大野　令子、星　良子
地域医療コーディネーター：１名 松宮　泉
国保年金課：１名 田胡主任
事務局：５名　高齢者支援課 鈴木課長、山口課長補佐、石川係長、
廣瀬総括主査、鈴木主査
傍聴者：１名
司会：高齢者支援課　廣瀬総括主査

【議　題】
（１）会長あいさつ
（２）専門部会からの報告
①協議会（年３回開催予定）
第１回　令和８年５月１４日（木）午後２時から午後３時３０分
出席者：委員１１名、国保年金課１名、事務局９名、コーディネーター１名、
傍聴者０名
議　題：令和７年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会活動報告
「令和８年度に向けた４つの場面に関する検討（活動、担当、評価など)」について報告
令和８年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会計画について協議
その他、国保年金課から

②専門部会
第１回　令和８年４月２２日（水）午前１１時～１２時１５分
（天王台地区高齢者なんでも相談室）
出席者：１１名（コーディネーター１名、事務局２名含む）
議　題:「令和８年度　在宅医療・介護連携推進協議会活動計画（案)」の内容の検討
実施計画の役割分担の検討（※当日資料）
「令和８年度　在宅医療・介護連携推進事業　実施計画書（案)」への内容確認検討
４つの場面の具体的対策の動かし方の検討
令和８年度、協議会の内容について
多職種交流会１回目について共有（担当から）

第２回　令和８年５月２５日（水）午後１時３０分から２時３０分
（天王台地区高齢なんでも相談室）
出席者：１１名（コーディネーター１名、事務局２名含む）
議　題：各担当からの進捗状況の報告、検討事項
第１回多職種交流会（６月２５日）
その他
今年度の専門部会の予定について：各回の議題等「専門部会（案）」
担当ごとの事前準備・作業手順表の作成のお願い

第３回　令和８年７月８日（水）午後１時３０分から２時３０分
（天王台地区高齢者なんでも相談室）
出席者：８名（コーディネーター１名、事務局２名含む）
議　題：各担当からの進捗状況の報告、検討事項
第１回多職種交流会（６月２５日）
看取りの時のワークショップ」（７月２３日）
市民講演会
安心カード
その他
中間評価に向けて：担当ごとのまとめ依頼
在宅療養ハンドブックの配布先について
第２回多職種交流会について

第４回　令和８年９月９日（水）午後１時３０分から３時
（天王台地区高齢者なんでも相談室）
出席者：１０名（事務局２名含む）
議　題：各担当からの進捗状況の報告、検討事項
「ハンズオンセミナー」（１１月１１日）
第２回多職種交流会（１２月１０日）
市民講演会（２月２３日予定）
その他
中間評価に向けて：担当ごとのまとめ
第２回協議会
日　時：令和８年１０月１５日（木）午後２時～午後３時３０分
会　場：議会棟第１委員会室

②多職種交流会

１回目

日　　時：令和８年６月２５日（木）午後６時３０分から午後８時３０分

場　　所：アビスタホール

参加人数：１２４名（うち会場１０４名、オンライン２０名）

（委員１１名、地域医療コーディネーター１名、事務局５名含む）

テ ー マ：「おひとりさま」グループワーク（ワールドカフェ方式）

「おひとりさま」をテーマに、認知症・看取り・災害の視点を加え、職種をこえて語り合う。

２回目

日　　時：令和８年１２月１０日（木）午後６時３０分から午後８時３０分

場　　所：湖北台近隣センター

③ハンズオンセミナー・ワークショップ

１回目

日　　時：令和８年７月２３日（木）午後２時から午後４時

場　　所：湖北地区公民館（コホミン）　第１学習室

テ ー マ：「看取りのワークショップ　私の視点・他の視点～同じと違うを考える～」

参加人数：３４名

２回目

日　　時：令和８年１１月１１日（水）午後２時から午後４時（予定）

場　　所：平和台病院　未来館（緩和ケア病棟）

テ ー マ：ハンズオンセミナー「看取りの場を知る　～家と病院の同じと違う～」

④顔の見える連携会議

日　　時：令和９年１月１４日（木）午後２時から午後３時（予定）

場　　所：平和台病院　未来館

⑤○○先生に会いたい企画

日　　時：　１回目　令和８年１２月（予定）

２回目　令和９年１月　（予定）

⑥広報あびこ

広報あびこ１１月１６日号への掲載にむけて、広報室に入稿しました。

⑦市民講演会

令和８年度　我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会　市民講演会

日　　時:令和９年２月２３日(火)午後１時３０分から午後３時３０分(予定)

場　　所：湖北地区公民館　ホール

内　　容：調整中

講　　師：調整中

⑧在宅療養ハンドブック「在宅療養あんしんガイドブック」

名　　称:「在宅療養あんしんガイドブック」

作 成 数：６，５００冊

発行時期：令和９年２月以降

⑨その他

・ＡＣＰの推進

もしバナカードゲーム（９月４日開催）参加者３３名

・安心カード

令和８年度配布分は、令和７年度中に印刷済。次回・令和１０年度発行分については、令和１０年度当初から社会福祉協議会で内容検討に入るため、協議会内では令和９年度に提案内容を検討する予定。

・エンディングノート・終活べんり帳の配布

協定締結先：株式会社　鎌倉新書

（３）「４つの場面に関する検討」

【日常の療養支援】

〈指　標〉顔の見える連携会議の参加事業所数

〈目標値〉増加　　〈現況値〉Ｒ７：０

〈数値の確認・引用元〉会議時に参加者数をカウント

〈指　標〉退院伴う相談件数

〈目標値〉増加　　〈現況値〉要確認

〈数値の確認・引用元〉ＫＤＢデータの退院時共同指導料の算定

〈指　標〉人生会議についての項目で、「自分が望む医療や介護などについて家族などの身近な人と話し合ったことがある」人の数

〈目標値〉増加　　〈現況値〉３０．２％

〈数値の確認・引用元〉在宅介護実態調査Ｃ票問３

●顔の見える連携会議が大きな指標になってくると考えた。
参加人数や回数は、指標にしづらいのかもしれない。参加事業所の数を指標にしたらどうか。一つの事業所から３０人くるよりも、五つの事業所から３人ずつきたほうが、より連携会議の意味合いが強まる。

●退院してから日常療養をしていくことに関しての相談と考えて検討。医療の退院時共同指導料という算定からから導き出されるかと考えた。

●人生会議について、介護保険事業計画策定に係るアンケート「在宅介護実態調査」で、『自分が望む医療や介護などについて家族などの身近な人と話し合っている』という選択肢があるが、それが増加していくことが一つの指標になるかと考えた。

●介護がまだ差し迫る前の世代に対する周知が、日常の療養支援にはとても大切なので、学童世代にアプローチすることで、ひいてはその親世代にはアプローチしていくことも、来年度以降検討していけるかと話が出た。

【入退院支援】

〈指　標〉顔の見える連携会議への参加延べ医療機関数
〈目標値〉増加　　〈現況値〉Ｒ７：０　→　Ｒ８：１、Ｒ９：２、Ｒ１０：３
〈数値の確認・引用元〉連携会議

〈指　標〉退院時の医療機関との円滑な連携状況
〈目標値〉増加　　〈現況値〉４６．２％
〈数値の確認・引用元〉介護支援専門員調査「退院時の病院との円滑な連携」を「非常にそう思う」「そう思う」

〈指　標〉退院支援を受けた患者数
〈目標値〉増加　　〈現況値〉要確認
〈数値の確認・引用元〉要確認

●顔の見える医療連携会議への参加延べ医療機関数という指標を出した。

●介護保険事業計画策定に係るアンケート「入退院支援・調整について「退院時に病院の主治医または連携担当者と円滑な連携がとれている」と感じるかの質問から、退院時の医療機関との円滑な連携状況を指標として使用する。

●退院支援を受けた患者数について、目標値は増加。

【急変時の対応】

〈指　標〉安心カードの活用率
〈目標値〉維持　　〈現況値〉Ｒ７：１００％
〈数値の確認・引用元〉救急搬送時の安心カード有効率

〈指　標〉ＡＣＰの実施率

〈目標値〉増加
〈現況値〉在宅介護実態調査３０．２％
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査２０．４％
〈数値の確認・引用元〉在宅介護実態調査Ｃ票問３、ニーズ調査問１６
〈指　標〉もしバナカードゲームによる意識変容
〈目標値〉増加　　〈現況値〉Ｒ７：データなし
〈数値の確認・引用元〉
ゲームがＡＣＰのきっかけになったか。体験会に参加した人にアンケート
「ＡＣＰについて理解できたか」「再度やりたいか」「家族や信頼している人とやってみたいか」「知人におすすめしたいか」
〈指　標〉医療介護従事者の意識
〈目標値〉増加　　〈現況値〉Ｒ７：データなし
〈数値の確認・引用元〉
・参加者数、職種類、事業者数
・アンケートで、交流会に参加したことで、連携できるようになったか（複数回参加者）

- 安心カードの利用実績を消防署に数字をいただき、安心カードの活用率を指標とした。
  なお、今はマイナンバーから服薬情報やかかっている病院の情報等がある程度確認できるので、安心カードの項目について見直しが必要。
- ＡＣＰの実施率については、在宅介護実態調査と介護予防・日常生活圏域ニーズ調査で３０．２％、２０．４％という数字が出ている。
  次回、令和１０年度の調査に向けて、実施率が上がってくればと思う。
- もしバナカードゲームによる意識の変容について、ゲームが終わった後にアンケートをとって、ゲーム前後で見たほうがいいか。アンケートの内容も話にいろいろ出ていた。
  ＡＣＰのきっかけになったかどうかや、また再度やってみたいかどうかで、意識の方が高まったかの指標になる。

【看取り】
〈指　標〉病院以外で亡くなった方の割合
〈目標値〉増加　　〈現況値〉要確認
〈数値の確認・引用元〉市民課統計
〈指　標〉在宅時医学総合管理料・施設総合管理料の算定数
〈目標値〉増加　　〈現況値〉要確認

〈数値の確認・引用元〉ＫＤＢデータ
〈指　標〉在宅ターミナルケア加算の算定数
〈目標値〉増加　　〈現況値〉要確認
〈数値の確認・引用元〉ＫＤＢデータ
〈指　標〉市民向けの研修・講演会参加数
〈目標値〉　　〈現況値〉Ｒ７：データなし
〈数値の確認・引用元〉
〈指　標〉支援者向け研修・講演会　理解が深まった割合（大いに、少し）
〈目標値〉８５　　〈現況値〉Ｒ７：データなし
〈数値の確認・引用元〉

- 病院以外で亡くなった方の割合、こちらの目標は増加で設定。
- 二つ目は、在宅時医学総合管理料（在宅での療養を行っている患者）・施設総合管理料（施設（有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅）に入居している場合）の算定数を増やす。
- 三つ目は、在宅ターミナルケア加算の算定数の増加。在宅ターミナルケア加算は、訪問診療を行っている患者が亡くなった時に算定できる。お家もしくは施設で亡くなった人の数がしっかりとわかるので、増加を目指していく。
- 四つ目が、市民向けの研修の参加者数で、参加した市民の皆様に、やはり訪問診療など在宅・お家でみていけることを知ってもらうために、絶対数である参加者数をカウントしていくこととした。
- 最後に、支援者向けの研修・講演会で理解が深まった割合、医療者や介護者に対しての専門の研修で、最期まで看取りできるように知識が深まったことがわかるように割合を指標にしている。

（４）その他
〇ハンズオンセミナー
１１月１１日に、平和台病院未来館をお借りして行います、在宅の看取りに関するハンズオンセミナーがございます。
今まで実施したハンズオンセミナーと同じように、在宅医療・がんの看取りをテーマに、在宅で使用されている医療デバイスや福祉用具などを展示し、実際触ってみるということを行い、さらに松山委員にご協力いただいて在宅看取りに関するケアプランの実際をお話しいただきます。
家で看取りもできるけど、しんどくなったら緩和ケア病棟という選択もできるよということで、緩和ケア病棟の実際行っていることと、緩和ケアの先生からのお話を両方見ていただいて、緩和ケア病棟の見学もセットになっているというものです。定員３０名にしていますが、参加申し込みが１４名となっております。

３０名少々超えても大丈夫なので、ぜひ皆さんお声がけいただければと思います。
よろしくお願いします。

○事務局より

①次期繰越在宅医療介護連携推進協議会の委員についてですが、現在の委員様の任期が令和９年３月３１日をもって任期が終了となります。
年明け以降に各団体の方に文書にて正式にて、協議会の委員の推薦についての議題送付させていただく予定です。よろしくお願いいたします。

②第３回在宅医療介護連携推進協議会の開催日程について、
次回は、令和９年２月１８日も第１委員会室にて予定しております。